むかしおほきひのゆふぐれ
人わう四十代てんむてんわうの代につの国
むこのこほり此里にあきのいさんかんゆきそのを
てもちんまんぼうといふものにちくいかうゆし
きちやうじやありそのふに千代松丸とて
ひとりもありかくれなきすぐれたれんこくろ
だせやさしくて諸芸のうちにてもかくべつ
はよ繧音乃みやうおんとふく事んすまし
くして月夜わゆきとてもこけりまでかくれなきを
十六さいのくわう七年やよひ二日のわかれ

かわ 一

アカキ

ふくろくじゆがじゆもんかなござとうろくべのまへで
よろづきうき神くのまへにふしぶやせんちう
とられじちはさん人ぶめやうとつうりまうし君ん
おゝよろこびあいこれにいうかくらひめふひめ君
いきこうりしされでそよこうゝ七さいのぞうし
ようとおまでるれわんぐきとふかくまんじさふ
ぬぐわんぐきれにいつげふるう嫁に言よぶきいれてど
めなうちはされ男女の人ぶやうとつうりひめ君
となづけ二さいてうのおんぐきよさしげそ君
へ申べしさもわさんまりあまつまとおさ

へんと外れねへわうゆへよけいぞう月いのねをど
神いらけむやさりおがくうひうくそもうけ
あうびらともとねへあれでとりよあさにのひ
こふをとかげされてころうとねがまゝもあひろう
りうぶぶいきこうめしぞにおりがそれ祢
へいそぞうむなりうべさとれもとうりてよ
よりとはいそへよいかざあひあいひそのほううさと
りかくえへてねやのとぶめにらてかくもけ
ひめ君でとめひら
まして

はつげとはよろこびいはふりあくやぐてまつり
ぎんなきれなりけすてゝは海すてきゆる君の
ひなあそくのわきらけくちやうしやのよ
めとあらすよまれなりて今世にいさ
まもでむなあそびいあれあれ桃の花
白氏はいゑおきにとりてきさらぎ今の
それひなあそびは天神人のうちらとうつし
うらんぶやうかなれじうくつきわりてあそび
うなつきの海くのあだとあいむとりくぞて
ひなこの本とうすといふなぎこびさうに

よろめでたきしとうつめらはえん
しやうのさしにまきりきらいふし
とつきの無印を正月の十まぞめよ
けさうしとりひのふさぐにさうらす
そうしやうのめでたきさしなれれ
よつて今ひなあそびさしにうらへわ
づきよろらぞめでたきれこあひれりんぬ

○お代松丸は　住吉大明神のけしん
○ひめぎみは　玉津嶋大明神のけしん

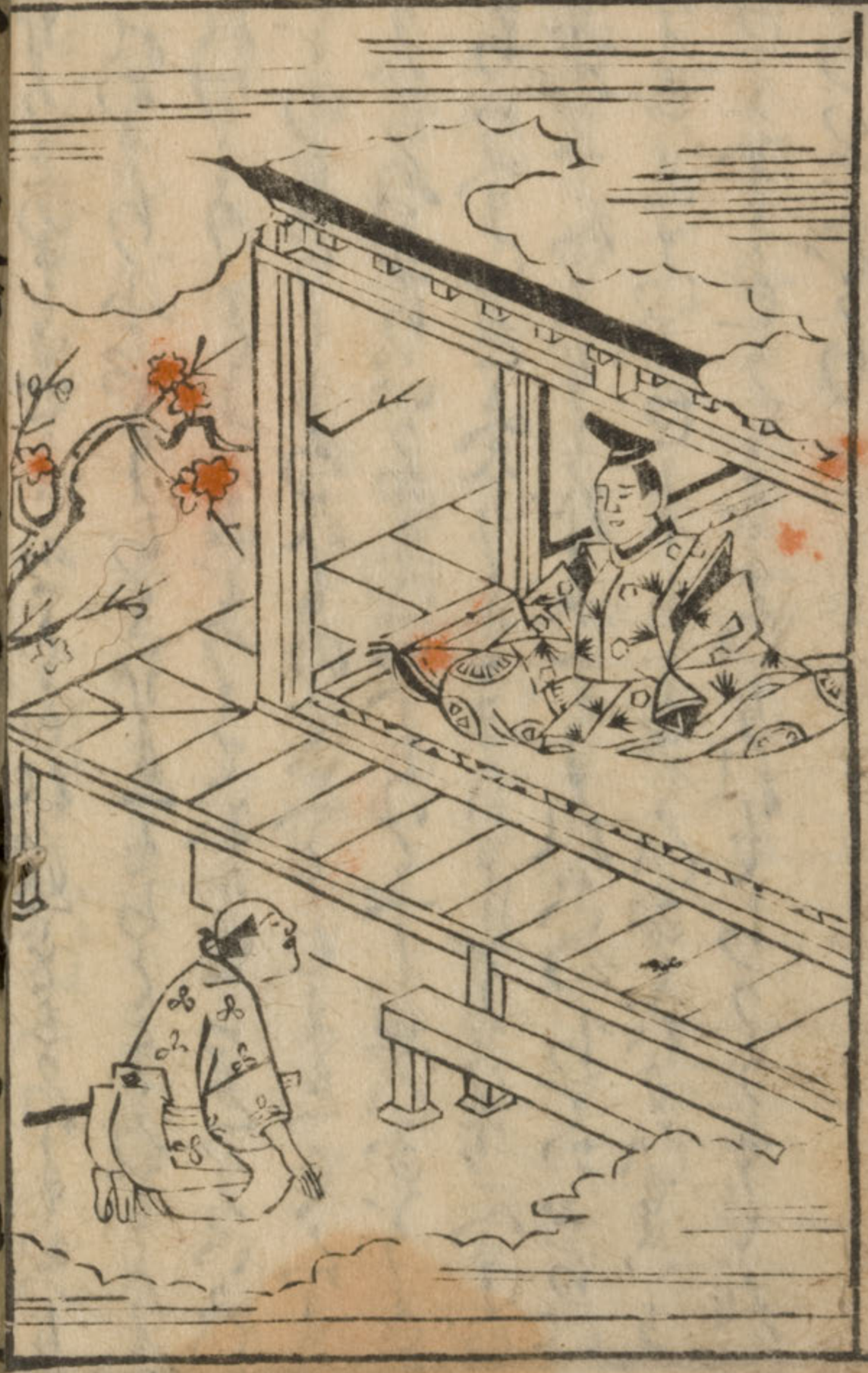
いまの世よりむかしまで歌舞妓(かぶき)へひいきをさけ
そなたつらすいこのいれありとかう

ゆんまやうれさし上

むかしよりいまにいたるまでめづらしき
きくれたる中にもいやしきものか
りになりてめられたりまではあふもれなう
さきくりくめぐくれいびさらなく雲晴られ
えんやうにかしこのあそぞちりたるその世へとさ
けめまでたびうたうしりたしさうへとるし
さられ四十六ざうれたるよかり他乃たぬ緋りさ
てんやうせのしがだんなれ太みうじいちやうさやうは
てれうしはんだ口あふらるといそやうまうれたこりよ

けいしゃれさ風につまれてもかけたることハ無し
てんらまたさそハ一万ちやうまきさすがういれかどハ
一萬八千ぞんしうこうかくこぎうしきれ中まゐ上中れ
世ぞう八百人下世三百人にさうり千人にかりまハらず
一れ無りしあれまるきゝめんひめきゝめんれ無うら
ぞおりしまりまるおかれだ大くうしのくさうしき
まぶん無とそてごしこゝれものあれ下らうあがらん
しやうじきかしくしきれてあとそらまきとりぬ
とそむかびよりひろしやけりひろおろうに大くすじ夏
おがしめしをろハ御とと何とこれぬとも又太やう

なるものまゝ世まゐことも御ぬどしかれども無も
れあまりふしやうじきなまゐぞらとこてゐとゝ
れがしめしくぶん無とめしてれあ巳らまゐハいた
とのまゐうしこゝろれものとゝいへどもまゐくんま
りあゐぬあり〻いゝあんあへもゆくべし思ひあをうさ
らば又まゐまゐ又太りしこまりまゐハ千人まん
あんが一人まなしんまでもまれハいろとかぎらに
もあまゐまいる巳じしあぐひあくれりひまいら
巳ゝへとゝもりくぎよいなれだらりなくた
らいでをり



上

なきひとのことをいまはゆくさか
ぎりうこのかいやりまよられりなへね
家もれがしじくふけ六うりれうらさい
けりきあくしまうせんとしつきびれ
ひきでものとぞさあくひのせあひろ

ちんのよう御めぐみやう神代ゆござい
くらじよしものさうしさがんやうしや
うしろのつくしやうくにてぬらりわき
ちてまうれんくらじかしまさりてかぶらし
うけたまはぞみとあらびしそうしまのみやう
神はいのりくだびうほどれひめと二人まう
けくかぶらげ上しいりうしてこうあるん
じきくてふんやうふこみとりくなくこるさ
ましろげなさけしかう何りてんふんゆうかう
れうくやし[illegible]

[illegible]

ござれのぞきとあしらずてさ御とう
ねとけのまちはいんとのぞきとあしとふく
ねりひらうとうされまへでちらじやう
どのぼくどくとまうしめてそれはりけところ
あがれてあさいゆふこるりとなくねがみれ
いらあらよのちちぎりやらめしぜときこうし
めてしらふくとのひよきづきわすれかや
まみゆるうしまひかり

元禄七甲戌年正月吉日　浅見吉兵衛板

110X
439
1